

4 学校説明資料

(2) 学生の確保と学習支援(教務主事)

学生の確保と学習支援

学生の受入れ

学習支援

国際交流

FD活動

進路指導

JABEE (日本技術者教育認定機構)への取組み

教務主事 桑田 茂樹

学生の受入れ

1. アドミッションポリシー
2. 入学志願率の推移 (本科・専攻科)
3. 編入学状況
4. 学生確保対策

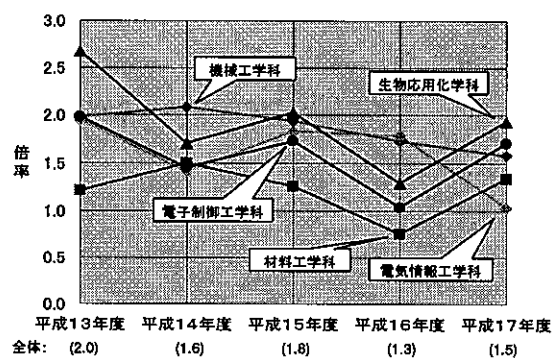


アドミッションポリシー

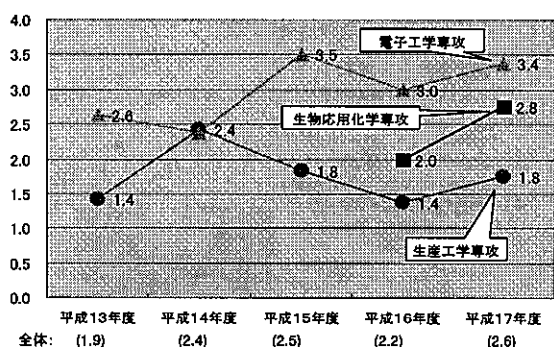
本校は、入学者として次のような人を広く求めます。

1. 何事にも目標を持って、努力できる生徒
2. 人生に夢を持っている生徒
3. 自分の可能性を信じて、チャレンジできる生徒
4. ものを作ること(実験・実習)が好きな生徒
5. 数学や理科が好きな生徒

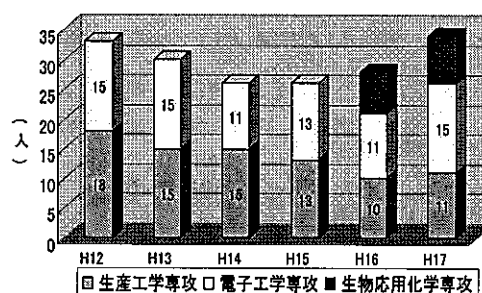
本科 入学志願倍率の推移
(平成13年度～平成17年度)



専攻科 入学志願倍率の推移
(平成13年度～平成17年度)



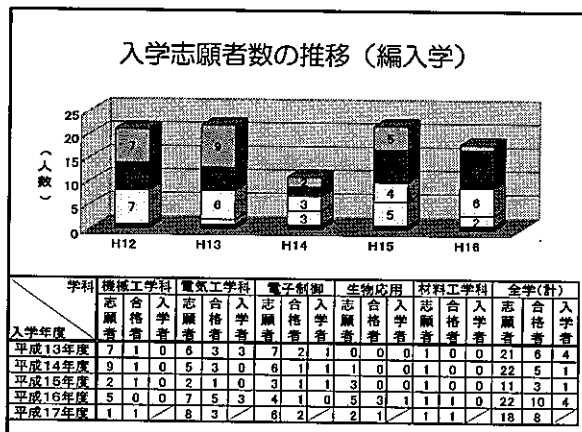
入学者数の推移 (専攻科)



※平成17年度は3月1日現在合格者数です。

4 学校説明資料

(2) 学生の確保と学習支援(教務主事)

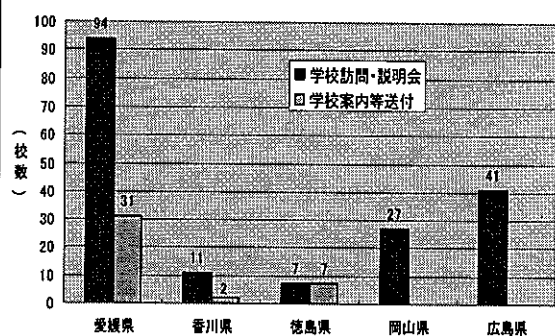


学生確保対策

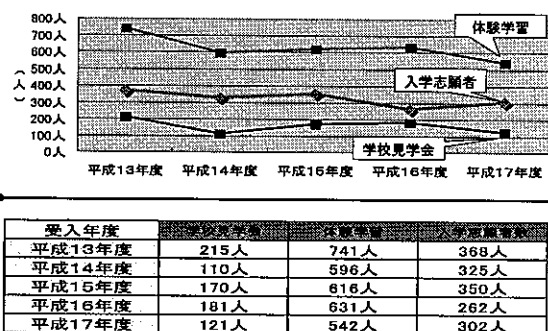
1. 中学校訪問(「はばたけ未来へ」の配布)
県内、徳島県、香川県に加え、本年度は岡山県、広島県の中学校も訪問
2. 学校説明会への参加
3. 夏季体験学習の実施
4. 学校見学会の実施



平成16年度 広報実施状況(学校訪問・説明会)



学校見学会・夏季体験学習参加状況 (平成13年度から平成17年度)



～育成目標～

1. 問題設定解決能力の育成

創造設計製作、電子制作実習、セルフプランニング実験など

2. プレゼンテーション能力の育成

インターンシップ報告会、卒業研究発表会、特別研究発表会、学会発表(専攻科)など

3. コミュニケーション能力の育成

少人数グループ実験、グループ演習など

～学習支援～

1. 授業内容・方法の改善

1) 創成型教育の導入

電子制作実習、創造設計製作・セルフプランニング実験(H17から)など

2) IT機器を活用した授業

プロジェクト、コンピュータ(英語ソフト)など

3) 少人数授業の実施

英語、実験実習、専攻科の講義など

4) 習熟度別授業の実施

2年生の数学、H17年度から



4 学校説明資料

(2) 学生の確保と学習支援(教務主事)

～学習支援～

2. 授業時間外の学習支援

- 1) オフィスアワー制度の導入(H15年度から)
- 2) ティーチングアシスタント制度の有効活用
放課後、専攻科生、5年生が1、2年生の数学・物理の学習支援
- 3) ICカードキーの導入(自学自習支援)
放課後の電算室・LL教室の使用
英語学習ソフトの導入
- 4) 実力試験の実施(年2回)
数学、国語、専門(就職・進学対策)
- 5) 英語学力試験(年2回)
統一試験(本科生全員)
- 6) 校内TOEIC IPテストの実施(年2回)
専攻科生(2回)、4年生(1回)、他学年は希望者



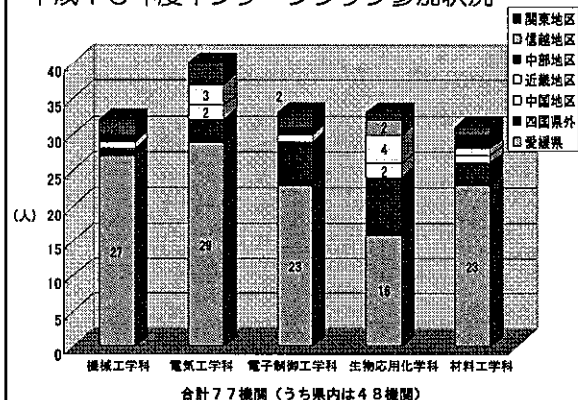
～学習支援～

3. 夏季休業中の学習支援

- 1) 英語実力養成講座(全学生対象): 学年末休業中にも実施(参加78名)
8月24日(火)～27日(金)の4日間(3コース)、参加46名
- 2) 数学夏季補習(1年生対象)
7月20日(火)～23日(金)の4日間(2コース)、参加72名
- 3) 数検合格対策講座(数検受験者を対象)
「数検」実施校に登録、参加20名 数研合格者: 2級6名、準2級5名
- 4) 課題演習2の開講(夏季体験学習に向けて)(全学生対象)
受講学生数: 94名
- 5) 電気情報工学科実力養成研修(電気情報工学科・電気工学科学生対象)
8月23日(月)～27日(金)の5日間 参加学生数: 29名



平成16年度インターンシップ参加状況



平成16年度シニアインターンシップ参加状況
(専攻科)

学 年	専 攻 科 1 年			
専 攻	生産工学専攻	物応用化学専攻	電子工学専攻	合 計
参加学生数	10名	6名	11名	27名
不参加	0名	1名	0名	1名
計	10名	7名	11名	28名
備 考	不参加学生1名は3月10日から復学中			

～国際交流～

留学生在籍状況 国別年度別 (平成13年度～平成17年度)

出身国	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
中国				1	1
モンゴル		1	2	2	1
ベトナム				2	3
ミャンマー	1				
タイ			1	1	1
マレーシア	2	1	1	3	6
ラオス	1				
バングラディシュ					1
スリランカ	1	1	1		
イラン			1	1	1
ケニア	1	1			
コロンビア		1	1	1	
計	6	5	7	11	14

～国際交流～

学生の海外留学

年度	学年・科	性別	休学期間	留学先	備考
H11	3 C	女	H12.1.1	H12.12.31	オーストラリア
H12	該当無し				
H13	5 M	男	H13.4.1	H14.3.31	オーストラリア
	2 SE	男	H13.9.23	H14.3.31	ニュージーランド
	3 D	女	H14.1.12	H14.12.31	ニュージーランド
H14	3 C	女	H14.7.20	H15.6.30	アメリカ
	1 SM	女	H15.4.1	H16.3.31	オーストラリア
	3 C	女	H15.4.1	H16.3.31	イギリス
H15	3 C	女	H15.7.20	H16.6.30	イギリス
H16	5 M	男	H16.4.1	H17.3.31	アメリカ
	3 D	女	H16.4.1	H17.3.31	アメリカ
	3 C	女	H16.7.14	H17.6.30	アメリカ
	3 D	男	H16.7.25	H17.6.30	アメリカ

4 学校説明資料

(2) 学生の確保と学習支援(教務主事)

国際交流



留学生歓迎会

留学生ウィークの実施

外国留学体験報告会

ロータリークラブの短期交換留学生の訪問

日本語専攻外国高校生短期招聘事業によるフィリピン高校生の受入

FD活動

1. 公開授業の実施

平成14年度:6回, 平成15年度:22回, 平成16年度:16回

2. 新居浜高専教育フォーラム2004の開催(第2回)

「数学(算数)教育の向上を目指して～現状と課題～」平成16年1月7日(金)
小学校・中学校・高等学校の教員, 新居浜市教育委員会関係者, 一般市民等約100名が参加

3. 学内FD研修会の開催

「アドバイザー制度の現状と課題」平成16年6月16日(水)
「高専生の心の世界」～新居浜高専学生相談室の相談事例から～平成17年3月1日(火)

4. 市内中学校の授業参観

3中学校, 31名が参加
来年度は, 中学校・高等学校との相互授業参観を予定

5. 各科・学科内に教育改善グループを組織

6. 機構及び文部科学省主催の研修会への参加



進路指導

学生の希望通りの進路決定を目指して
就職・進学率100%

1. 企業説明会の実施

2月8日(火)に県内外から78社の参加

2. 卒業生講話の実施(1, 2年生)

3. 就職状況

4. 進学状況

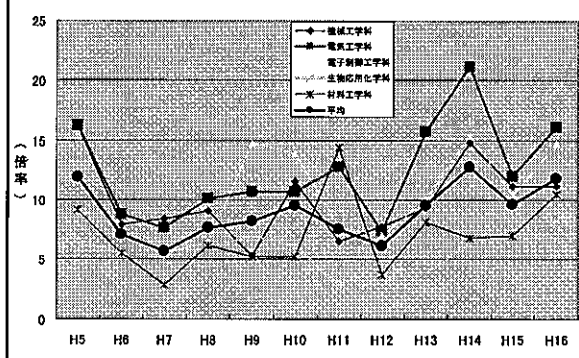


平成16年度 進路決定状況(3月1日現在)

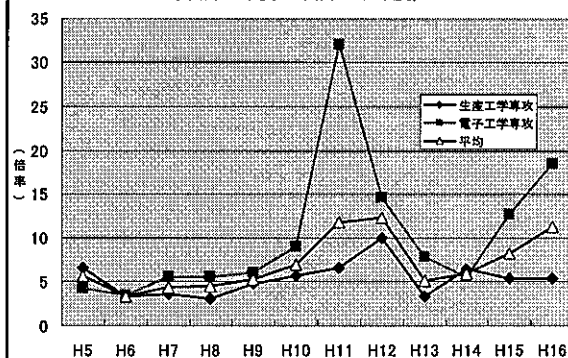
区分	学科及び専攻名	卒業及び 肄了者数	就職者 数	進学者 数	その他	求人		求人倍率 (求人数/ 就職者)
						会社数	求人数	
本 科	機械工学科	32	27	4	1	301	301	11.15
	電気工学科	36	22	12	2	355	355	16.14
	電子制御工学科	28	12	13	3	176	176	14.67
	生物応用化学科	34	22	12	0	175	175	7.95
	材料工学科	32	16	12	4	168	168	10.5
	計	162	99	53	10	1,175	1,175	11.87
専攻科	生産工学専攻	12	11	1	0	60	60	5.45
	電子工学専攻	12	9	3	0	167	167	18.56
	計	24	20	4	0	227	227	11.35

(その他は専門学校など)

本科 求人倍率の変遷
(平成5年度～平成16年度)

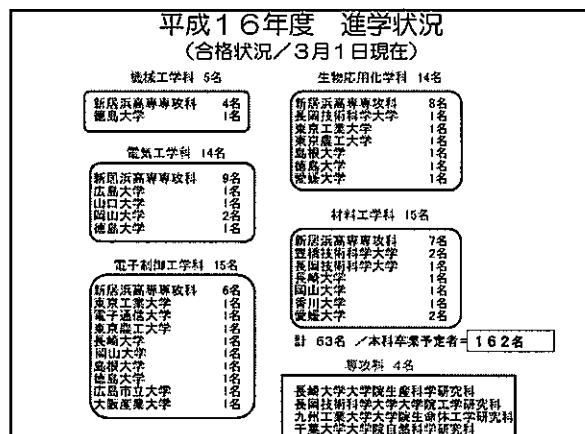
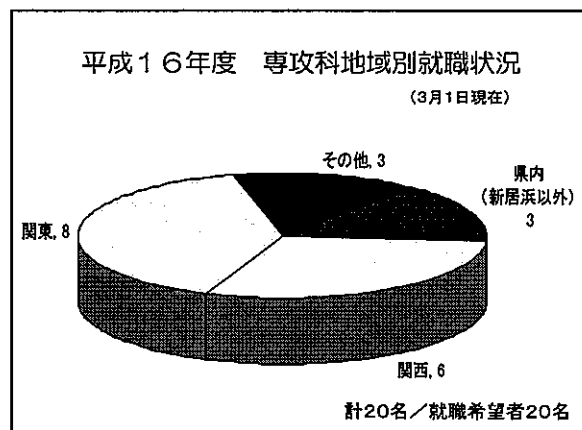
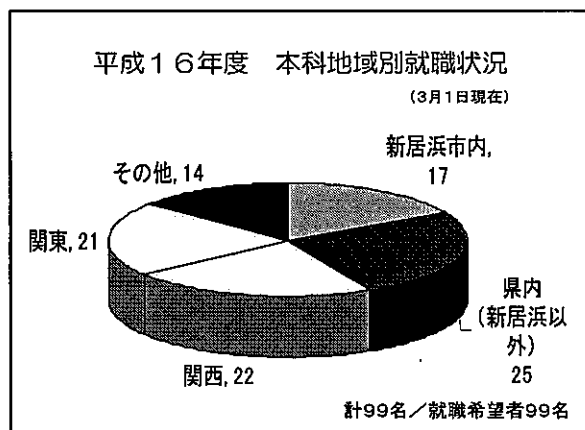


専攻科 求人倍率の変遷
(平成5年度～平成16年度)



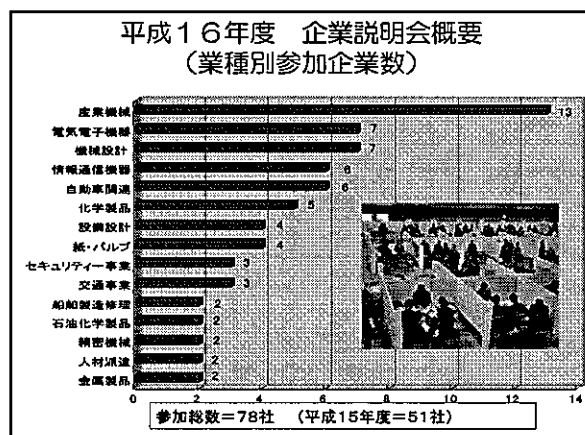
4 学校説明資料

(2) 学生の確保と学習支援(教務主事)



平成16年度 技能検定及び資格検定合格者数
(3月1日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	計
基本情報処理技術者試験			1		1	2
初級アドビイラストレータ			2			2
デジタル技術検定					1	1
情報処理活用能力検定		1		1		2
パーソナルコンピューター利用技術認定試験		1				1
英語検定後者			3			3
電気工事士		1	2	3		3
工業損益者			1	1		2
デジタル第1種				1		1
デジタル第3種			1	1		2
アナログ・デジタル総合検定					1	1
実用英語検定	5	6				11
工業英語能力検定				2		2
実用数学検定				4	2	6
日本漢字能力検定	1	4	1	1	1	8
計	9	10	12	15	6	52



JABEE(日本技術者教育認定機構)への取組み

1. JABEEとは
2. 全国の認定状況
3. 本校の取組み
 - 生物応用化学プログラム (平成15年度認定)
 - 生産工学プログラム (平成17年度受審)
 - 電子工学プログラム (平成17年度受審)

(2) 学生の確保と学習支援(教務主事)

全国高等専門学校JABEE認定状況(2000年4月現在)		
	プログラム名	分野
埼玉工業高等専門学校	機械	工学(総合総合・新領域)
専攻科	再生システム工学	工学(総合総合・新領域)
鹿児島工業高等専門学校	環境創造工学	工学(総合総合・新領域)
甲府科	環境システムデザイン工学	工学(総合総合・新領域)
岐阜工業高等専門学校		
専攻科	環境システムデザイン工学	工学(総合総合・新領域)
京成工業高等専門学校	建築工学	土木および土木建築分野
京成科学技術専門学校	情報工学	電気・電子・情報通信
京都府立総合技術学院 電気工学科	機械・電気工学	工学(総合総合・新領域)
福岡工業高等専門学校		
専攻科	再生システム工学	工学(総合総合・新領域)
鈴鹿工業高等専門学校		
電子システム工学専攻	電子情報システム工学/ソフトウェア	電気・電子・情報通信
及び 情報システム工学専攻		おおよそその関連分野
岡山工業高等専門学校		
専攻科	機械・情報システム工学	機械および情報通信分野
機械・情報システム工学専攻		電気・電子・情報通信
及び 情報システム工学専攻	電子・情報システム工学	おおよそその関連分野
岡山工業高等専門学校		
専攻科	設計情報工学	工学(総合総合・新領域)
鶴岡工業高等専門学校		
専攻科	生物応用化学	化学および化学関連分野
専攻科	システムデザイン工学	工学(総合総合・新領域)

本校のJABEE受審予定プログラム

(平成17年度)

生産工学プログラム

本プログラムでは、環境への影響や循環型社会を配慮しつつ、与えられた制約条件の下での人的・物的・知的資源を有効に活用したもののづくりができる、デザイン能力に秀でた技術者となつた「資源活用型技術者」の養成を目指します。

具体的には、機械・材料専門分野の基礎知識、技術を活用し、問題解決に向けて自主的に考え、計画を立案・実行できる力となつた「デザイン能力を」、「計画能力」、「情報編集・問題解決能力」および「ITツール活用力」の三つに分け、それぞれの能力を養成します。

電子工学プログラム

電子工学プログラムでは、企業において新しいシステムを設計、構築するチームの一員として活躍できる人材を養成します。これからのものづくりには、使役側に向けた発想を持ち、新しい技術が社会や環境に与える影響を配慮して設計するシステムデザイン能力が必要とされています。そこで、電子工学プログラムでは、技術者に必要な倫理観とシステムデザイン能力を身につけ、ものづくりを通して社会貢献できる人材を育成します。

